

田川市協働事業提案制度(令和5年度継続事業)採択事業

事業名	猿追い出し活動の強化及び猿を近づけない地域づくり事業
事業種別	市民提案型協働事業
提案団体	夏吉 猿追い出し隊
市担当課	農政課
事業予算総額	516,000円
事業目的	・猿による農作物などの被害をより軽減するために、追い出し活動の強化及び、緩衝地帯の見通しを良くし、猿が現れづらい環境づくりを図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員数を増強させる。 ・追い出し隊定例会議を公民館で適宜行う。 ・情報網の強化のため機関紙「せせらぎ」への掲載を毎号(奇数月5日発行)行う。 ・猿出現時に出勤可能な隊員(5~10名)が、追い出し活動を実施する。 ・緩衝帯の整備を行う。
審査結果	採択
審査会講評	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の規約が確認できればよかった。 ・どのような専門性が事業に必要で、どのように活用されているのか分かればよかった。 ・地域のつながりが希薄となりつつある最近の情勢の中で、地域の課題を地域の力を合わせて解決しようとするすばらしい取組である。 ・ニーズもあり、効果もあげている活動である。 ・「猿の追い出し」モデルの普及は、同様のニーズがある地域に限定されるが、他の害獣被害の軽減活動に応用できると思う。 ・機関紙の他に募集や情報公開を行っているのか具体的に分かれば良かった。 ・提案団体からの、情報発信をもう少し頑張してほしい。 ・役割分担について、市の役割が見えなかった。 ・今後の事業を実施する中で、市の役割の明確化と、その関与の度合いを情報提供だけでなく、竹の有効活用等も含めて、増やすようにしてほしい。 ・市側の役割については、課題としていた状況が改善されていく中で、その先をどうするかを考えられているのか。提案団体は引き続き、猿の追い出し活動を続けていき役割があるが、市側の次の展開や課題は何かを考えていく必要がある。 ・後継者の問題が課題である。 ・今後、世代交代として若い人の参加を増やすのなら、会議などの負担を減らすという方法はあるが、負担が減ると団体内での役割分担をどうしていくのかを考えなければならない。